

緑のボランティア通信

2026.4.1

NO.103

令和8年度の主な事業紹介をします

公益財団法人川崎市公園緑地協会は、川崎市の緑の保全と緑豊かな街づくりを推進するため、緑の活動支援、育成及び普及啓発を行うボランティアセンターとしての機能を有した緑の拠点として、様々な事業を行っております。

緑化推進・普及啓発事業

① 緑地保全事業

- 特別緑地保全地区・緑地保全協定地・保存樹林等、市と管理協定を締結している所有者の方々に管理費の一部を助成します。

② 緑化推進事業

- 市内で新たに「生垣づくり」及び「屋上・壁面緑化」を行う方に費用の一部を助成します。また、市内で新たに「駐車場緑化」を行う方に樹木を助成します。
- まちの樹の診断及び治療費用の一部を助成します。

③ 普及啓発事業

- 思い出記念樹「樹繫（きづな）」
出生、幼稚園・保育園入園、小学校入学といった大切な思い出の記念に希望される方へ苗木を差し上げます。（受付：通年 配布：5月・10月）



樹繫（きづな）



壁面緑化

④ その他

- 緑化に関するパンフレットを作成し、各種行事において花の種及び花の苗等を配布し普及啓発を行います。
- 緑化活動への普及活動を目的にイベント等で緑化基金募金活動を行います。



目次

令和8年度の主な事業紹介	1
令和8年度の主な事業紹介のつづき	2
活動団体訪問・自己紹介コーナー	3
いそろう植物のヒトリゴト	4

緑のボランティア活動支援事業

花と緑のまちづくりを進めるため、地域の身近な緑を増やしたり、残された大切な緑を守るボランティアと団体を支援します。

①「緑の活動団体」助成事業

公開性の高い場所で植樹、花壇づくり、プランター等により緑化を行い、年間を通じて維持管理を行う団体や下草刈り等の緑地保全活動を行う団体を緑の活動団体として登録し活動に係る費用の一部や、情報提供等の支援を行います。

②ボランティア通信の発行

緑のボランティアへの情報提供と連絡調整を図るとともに、広く市民に活動状況を知らせ、活動への新たな参加や新規団体の登録拡充を図ります。

③交流事業の開催

市内緑地の保全や緑化の推進にかかわる団体が、日ごろの活動の成果を広く市民に発表するとともに、これらの人々の交流を深めること等を目的に開催します。

④その他

緑の活動団体を対象にした出前講座、道具や図書の貸し出し、緑の人材バンクへの登録と活用などに取り組みます。



交流会



出前講座

緑のボランティア育成事業

川崎市の魅力ある“花と緑のまちづくり”を目的として、市政策の状況を広報し市民との協働によるパートナーシップ型事業を行います。

①コミュニティガーデン入門講座

花壇づくりや花のお手入れを通して地域で楽しめるコミュニティガーデンについて学ぶことを目的とした講座です。



コミュニティガーデン入門講座



かわさきの森づくり

②かわさきの森づくり (里山ボランティア育成講座)

里山の自然環境や管理手法を学習し、市内の様々な緑地で実技研修を行うことにより、里山活動の活性化と実際に活動を始めるボランティアを育成します。

③こども黄緑クラブ (こども自然体験教室)

楽しみながら四季の自然に親しみ、川崎の緑に関心を寄せてもらうことで次世代の担い手を育成します。更にこどもだけでなく、大人向けの講座も開催します。



こども黄緑クラブ

はなまちガーデンレポート事業

全国都市緑化かわさきフェアで生まれた輪を広げ、市内の花だんや緑の活動を広く紹介し、花だんづくりや緑化活動に参加するきっかけの創出、ボランティア間の交流・連携へとつながる事業を実施します。

緑の活動団体訪問・自己紹介コーナー

グリーンロード有馬 (2009設立)

活動場所 川崎市有馬・野川障害学習支援施設（アリーノ）周辺（宮前区東有馬4-6-1他）
交通案内 東急田園都市線鷺沼駅から東急バス「鷺02」小杉駅行「有馬第二団地前」下車



私たちはアリーノ（川崎市有馬・野川障害学習支援施設）設立に伴い、アリーノが周辺街路樹整備のボランティアを募集し誕生した団体です。



荒れた街路樹を整備し少しずつ花壇にしてきました。設立時は4名から始めましたが、メンバー募集のチラシや友人などに声をかけ、現在は近隣住民14名ほどで活動しています。活動内容は、水曜、土曜の2班で毎週水やり、花がら摘み、ゴミ拾いなど、月1回の定例会、年2回の植え替え、それから、アリーノで年1～2回寄せ植え教室の開催もしていて、昨年で13回となりました。活動していて苦労していることは、夏は週2回の水やりでは水不足になることもあり、冬は建物の影になり寒い中での作業になることです。それでも道行く人から「いつもきれいにして頂き、ありがとうございます」などとよく声をかけていただき、とてもうれしく思い活動の励みになっています。



（小澤 恵子）

メゾン向の岡公園クラブ (2017設立)

活動場所 「メゾンドール多摩川」提供公園（多摩区堰1-348）
交通案内 JR南武線久地駅から徒歩10分



50年前、私たち220世帯が居住しているメゾンドール多摩川が建築された時、提供公園として今の活動場所「向の岡公園」が誕生しました。ミニ公園として子どもたちの成長を見守ってくれましたし、住民達の自由な発想とお世話で守られてきました。平成29年に「メゾン向の岡クラブ」として緑の活動団体に登録し活動が開始しました。メンバーはマンション住居者40歳代～80歳代の13名です。年2回花の植え替え、花がら摘みや落葉清掃等の作業を通して住民どうしのコミュニケーション



がとりやすくなりました。公園には、近隣のいくつかの保育園等の園児も遊びに来て、元気に走りまわる姿を見ると元気がもらえます。特に春は公園前遊歩道の八重桜並木が満開になると、園児たちだけでなく、近隣からも花見に来られ公園はとてもにぎやかになります。マンション住民も花見の宴を毎年開催しているので、公園の花壇も彩を添えられるようみんなで頑張っています。

（荒井 雅子）

いそろう植物のヒトリゴト

知らず知らずのうちに花壇に入ってくる、いそろう植物たち。
本コラムでは植物の特徴をふまえながら、彼らの「独り言」に耳を傾けていきたいと思います。

はなはな
花でも葉でも
す
お好きにどうぞ。
しあかぜ
潮風なんて
へっちゃらさ。

25 「ハマダイコン」

(アブラナ科・ダイコン属)

Raphanus sativus var. raphanistroides

国内では本州以南を中心に各地の海岸や河川等に分布し、特に砂浜や河口の礫地など潮風を受ける環境に多く自生する越年草である。若葉や花、若い果実は地域によって天ぷらや和え物、漬物として利用され、理論上は花も葉も根も食用可能とされる。起源には栽培ダイコンの野生化説と地中海起源の野生種説があり、野生化説が有力とされるが判断はできない。潮風や塩害に強く、砂に埋もれても再生する適応力は沿岸環境で培われたもので、人とともに歩んできた植物である。

かゆ
お粥にどうぞ。
ぼくのハートで、
いくらでも
ふ
増やせるからさ。

26 「ナズナ」

(アブラナ科・ナズナ属)

Bidens pilosa var. pilosa

国内では北海道から九州まで広く分布し、道端や畑、空き地など日当たりのよい攪乱地に自生する越年草である。春の七草として古くから食卓に上り、若葉はほのかな辛味があり、おひたしや和え物、汁の実として利用されてきた。正月明けに七草がゆとして食べる風習は、胃をいたわり無病息災を願う暮らしの知恵でもある。果実は三角形から倒心形の“ハート形”で、薄く軽く揺れると種が落ちやすい構造を持つ。一株で数千個の種子をつくり、土中で数年以上生きる土壌シードバンクを形成し、都市化が進むほど広がる、人の営みに寄り添う植物である。

ペンネーム: きよすけ
(造園家・植物研究家)

植えてもいないのに生えてくる道ばたの小さな雑草たち。「雑草」とひとくくりに使われていますが、そんな“いそろう”たちにも一つ一つに名前と生態があります。このコーナーではそんな植物たちをご紹介します。新しく始まったこのコーナーのご意見、ご要望をお寄せください。参考にさせていただきます。

発行・編集

(公財)川崎市公園緑地協会 緑の推進支援課

〒211-0052 川崎市中原区等々力1
電話 044(711)6631 FAX 044(722)8410
<https://www.kawasaki-green.or.jp>